

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市有財産整備事業						担当部	総務部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	財政課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	資産管理係		
	総合計画 分野別計画	主目的	7 行政経営		32 税・財政		3 市有財産の有効活用に努める				
		副目的									
	予算区分	款	2	項	1	目	12	大	2	中	2
	根拠法令・個別計画										
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	98 %			委託	2 %		助成	0 %	
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市有財産を有効に活用するため必要な整備を行う。									
	内容 (手段)	<p>・普通財産土地を管理するため、境界柵を設置した。 (普通財産管理柵設置工事 976千円)</p> <p>・旧清掃事務所(普通財産)において、水道の漏水が発生したため水道管の修繕工事を行った。また、ガス管の老朽化についても修繕工事を行った。 (シルバー人材センター給水管改修工事 1,207千円) (シルバー人材センター事務所ガス管改修工事 170千円)</p> <p>・小牧准看護学校校舎(普通財産)について、老朽化が激しいため、閉校に併せて、建物の取り壊しを行った。(小牧市准看護学校・久保会館解体工事管理業務委託 451千円) (小牧市准看護学校・久保会館解体工事 22,812千円)</p> <p>【直接経費の内訳】</p> <p>・普通財産管理柵設置工事 976千円</p> <p>・シルバー人材センター給水管改修工事 1,207千円</p> <p>・シルバー人材センター事務所ガス管改修工事 170千円</p> <p>・小牧市准看護学校・久保会館解体工事管理業務委託 451千円</p> <p>・小牧市准看護学校・久保会館解体工事 22,812千円</p> <p>・原材料費等 9千円</p>									
受益者負担	無										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	5,547	4,750	25,625	3,609	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.70	0.70
			人件費	千円	1,063	1,063	3,723	3,723
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	6,610	5,813	29,348	7,332
	対前年比		%		87.9	504.8	24.9	
財源	一般財源	千円	6,610	5,813	29,348	7,332		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	整備工事数	件	目標		—	—	—
実績				3	4	5	
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	整備工事数	件	目標		—	—	—
実績				3	4	5	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>管理柵の取替修繕、旧清掃事務所(普通財産)の漏水修繕、老朽化の進んだガス管の修繕工事などを実施し、普通財産を適正に管理することができた。 小牧准看護学校・久保会館(普通財産)については、老朽化が激しいため今年度取り壊し工事を行い、普通財産の適切な整備が図れた。</p>
	事業実施における課題等	<p>普通財産(土地)については、傾斜地も多く、風水害による法面崩落などの危険性がある。 また、建物については旧清掃事務所の老朽化が進み、維持修繕工事の費用が継続的に発生している。</p>
	事業を縮小・廃止したときの影響	<p>普通財産(土地)における遊休地では、管理柵が不可欠であり、設置しないと不法占拠や不法投棄が発生し、多大な事務処理に追われる。 また、風水害による普通財産(土地)の法面崩落の発生などは、隣地など市民生活に影響を及ぼすことがある。</p>
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
	判定理由	<p>管理柵の劣化による定期的な補修や、建物・土地の普通財産の老朽化や風水害等による被害を最小限に抑える整備体制が整っており、迅速な対応が出来ていることから現状維持とした。</p>
	改善案等	<p>旧清掃事務所については老朽化が進み、耐震上も問題があるため、今後の事務所の取扱について早急に方針を固め、対応策を検討のうえ実施する。</p>

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。